

教員名	山本芳弘	所属学科	経済学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>環境・エネルギー問題について経済学を応用して研究します。身近なものから地球規模のものまで関心のある問題を取りあげ、問題の背景や解決策などを探求します。とは言っても理学や工学としてではなく、経済・経営の観点から取り組みます。なぜならば、このような問題はわれわれの社会経済活動と大きく関係しているからです。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <p>2年生「基礎演習」と3年生「演習I」前期では、環境経済学の専門書を輪読します。書かれていることを単にまとめるのではなく、それを基に深く調べ考えたことを中心に発表します。その後、ゼミ生全員でディスカッションします。内容はもちろんのこと、論理の組み立て方法や表現方法も学びます。</p> <p>3年生「演習I」後期では、プレゼンテーションと論文作成の方法を学びます。与えられたテーマについて考えをまとめプレゼンテーションします。ゼミ生全員でディスカッションした後、短い論文を作成します。</p> <p>4年生「演習II」では、個人単位で卒業研究に取り組みます。課題設定、研究方法検討、分析、考察を順次行い、スライドを使って発表します。質問、コメント、アドバイスなどをみんなで出し合い、より上質な研究に仕上げていきます。最後に卒業論文を作成し、当ゼミ生全員の前で発表します。</p> <p>どの学年のゼミにおいても、準備してきた内容を発表しみんなで議論するという形式をとっています。そこでは内容のある研究と十分な発表準備が不可欠です。また、発表について意見を述べるには、その場で発表を理解できなければなりません。ゼミを通じてこれらの能力を習得します。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>社会で生きていく上では、不況、過疎化、環境汚染などの社会経済問題や新商品開発、売上げ目標達成、投資判断などのビジネス課題など、さまざまな問題・課題に直面します。当ゼミでは、それらに対処するための能力を、環境問題を対象にして磨いているということもできます。したがって、ゼミで学んだことは、どのような職業においてもいかすことができると思います。実際、卒業生の進路は、金融、商社、メーカー、運輸、流通、公務員、団体職員などさまざまな方面に及んでいます。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H. D. ソロー（飯田実訳）『森の生活（上・下）』岩波文庫、1995年 ・ 佐和隆光『佐和教授 はじめての経済講義』日本経済新聞出版社、2008年 ・ ケイト・ラワース『ドーナツ経済学が世界を救う』河出書房新社、2018年 			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</p> <p>今まで学校でさまざまなことを学習してきたことでしょう。大学では、それらを前提により高度な内容へと進みます。あなたの知らないこと、さらには未だ誰も知らないことが待ち受けています。さあ「知」の冒険に出発しよう。</p>			